

串本海中公園

串本は世界最北端のテーブルサンゴの群落地の一つです。海岸沿いの暖かい黒潮が南方の暖かい海水を運ぶため、熱帯のサンゴや魚が生息することを可能にしています。施設には研究センター、水族館、海中展望塔、グラスボートがあり、地域の海洋生物を見ることができます。公園内ではウミガメを保護している場所もあり、地域に住むカメとその卵を捕食者から守っています。

湿地地域を保全するための国際条約であるラムサール条約は、この海岸の一部とそのサンゴの群落を保護しています。テーブルサンゴを始めとした約 120 種類のサンゴやカクレクマノミ、ソラスズメダイ、チョウチョウウオなどが生息しています。